

新年のご挨拶



～ 地域産業の活性化に貢献する ～



一般社団法人板橋産業連合会

会 長 吉 川 宏

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は当会の事業運営に対しまして、ご理解とご協力を賜りまして、こころより御礼申し上げます。

さて、最近の経済情勢は、アベノミクス効果による円安・株高により企業業績は大企業を中心に改善は見られるものの、景気回復の実感企業規模や業種によってかなりの温度差があります。また世界経済においても緩やかな持ち直しが期待されておりますが、米国の財政問題等海外リスクも払拭できない状況でございます。

このような情勢の中、4月に消費税の引き上げが実施されます。16年前の増税後は個人消費が落ち込み、日本経済が迷走するきっかけとなりました。このため政府は15か月予算の編成や復興特別法人税の廃止をはじめ企業の設備投資減税などを条件に、企業に対して投資と賃上げを促し個人消費の下支えを想定してますが、中小規模の事業所においては、エネルギー価格の問題等、政策が見えない中での投資が懸念されるところです。

こうした経済環境の中、当連合会といたしましては地域産業の活性化における支援機関として、企業経営のお役に立てる事業をはじめ、ネットワークの活用による各種情報の提供等、積極的に展開いたします。また、本年2月にODF世界会議が開催されますが、板橋区ならびに、関係団体と連携し、板橋産業のグローバル化に貢献する所存でございます。

会員の皆様には、本年も引き続きご理解、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

結びに、会員企業様の益々のご繁栄とご健勝をご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶



～ 持続的な発展を続ける産業都市の創造 ～



板橋区長

坂本 健

平成26年の輝かしい年明けにあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

板橋産業連合会の皆様には、日頃より板橋区政に深いご理解とご協力を賜り、地域経済活性化に格別のご尽力をいただいております。新年のご挨拶に併せて、厚く御礼申し上げます。

アベノミクス効果で、昨年5月には、4年1カ月ぶりに1ドル100円台を記録し、5年4カ月ぶりに日経平均株価が15,000円台を回復しました。安定した経済回復にはまだまだ課題があるものの、大手グローバル企業はその恩恵を既に受けています。内需に依存している中小企業まで至るには、大きな時間差があり、今年こそ、そのことが実感できるものと期待をしているところです。

昨年の「第17回いたばし産業見本市」は、初めての試みとして事前の出展者支援セミナーや個別相談の実施、大学・研究機関等との連携を図るための仕組みを盛り込むなどの工夫をしました。また、従前から効果のあった出展者同士の交流をさらに進めるための出展者懇親会の実施など、BtoBに特化した展示会を心がけ実施をさせていただきました。

板橋区は、板橋産業連合会、各企業、研究機関、大学等と連携し産業都市としてのブランドを構築し、区内産業の活性化の実現をめざしております。今年2月には、光学設計・製造に関わる国際会議ODFが、板橋産連会館に本部住所を置く日本光学会光設計研究グループと板橋区の共同主催で開催いたします。20カ国以上の国から300人以上の参加者を見込んでおり、貴会主催の区内光学・精密機器関連企業PR展示ブースの準備も着々と進めていただいているところです。

また、理化学研究所板橋分所での「板橋区ものづくり基盤技術強化支援事業承継」は、貴会主催で実施されているところです。

昨年7月に連携協定を締結したオプティクス教育研究センターを擁する宇都宮大学とも、来年度には更なる連携事業の計画もございます。

未来に向かって進化し、持続的な発展を続ける産業都市の創造には、様々な機関との連携を推進していくことが極めて重要であると考えます。今後とも貴会のご協力をお願い申し上げます。

板橋産業連合会のますますの発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶



～ 元気な日本を目指して ～



池袋労働基準監督署

署長 本城 信善

新年あけましておめでとうございます。

板橋産業連合会並びに会員の皆様には、謹んで新春のお喜びを申し上げますとともに、日頃から池袋労働基準監督署の業務運営にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、金融緩和、円安、株価上昇などを背景に景気回復にやや明るい兆しがでてまいりましたが、本年は、是非、生産性の向上や賃金の上昇などを伴う本格的な景気回復をお願いしたいと思います。

労働基準行政関係について振り返りますと、昨年は、景気回復傾向もあって、当署管内の賃金不払いや解雇等に係る労働基準法違反の労働者からの申告件数は減少しましたが、休業4日以上労働災害については、11月末現在で、725件と対前年比-1.5%とわずかな減少にとどまり、都内の各監督署別の件数では、ワースト1となっております。

東京労働局及び都内の各労働基準監督署では、平成25度からは、5か年計画であります第12次労働災害防止計画に基づき、「Safe Work TOKYO」をキャッチフレーズとして、労働災害の防止の取り組みを進めております。本年におきましても、皆様の職場におきまして、Safe Workの言葉を掲げていただいて、経営トップの安全衛生方針の表明や安全衛生管理体制強化の取り組みをお願い申し上げます。

今後、益々少子高齢化が進む中で、元気な日本を目指すためには、高齢者や女性も含め一人でも多くの方に元気で働いていただいて、みんなで経済を支えていく必要があると思います。そのためには、労働関係法令がしっかり守られている職場、安全で安心して働ける職場を築いて、ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現していくことが、これからの企業に求められることと思いますので、私ども全力でその実現に向けて取組んで参りたいと思います。

会員の皆様には、今後とも労働基準行政の運営につきご理解・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、板橋産業連合会の益々のご発展と会員の皆さまの益々のご活躍、ご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶



～ 求職者の早期就職の実現を目指して ～



池袋公共職業安定所

所長 磯井 衛

新年あけましておめでとうございます。

板橋産業連合会会員の皆様には、お健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年中は、ハローワーク池袋の業務運営につきまして、格別なご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年は、景気が緩やかに回復した1年となりました。直近の経済状況ですが11月の月例経済報告によりますと景気は緩やかに回復しつつあり、先行きについては輸出が持ち直しに向かい、各種政策の効果が発現する中で家計所得や投資の増加状況が続き景気回復が確かなものになることが期待されると公表されました。また、全国の完全失業率は、平成25年10月現在4.0%となり緩やかに改善されてきています。さらに東京都の有効求人倍率は1.45倍、新規求人倍率は2.56倍となり前月と比べてともに上昇しております。そのような状況から雇用失業情勢は緩やかな改善傾向を示しております。

こうした中で昨年は求人数の増加と求職者数の減少傾向は続き、特定の職種については人材確保が難しくなってきたり、一方で求職者ニーズにあった求人の確保が必要となりました。こうした状況への対応として、求人充足に向けたサービスを充実し、求人事業主の信頼と継続的な利用を獲得することに力を入れて行くこととし、それにより、良質求人確保と、効果的な提供による、求職者の早期就職の実現への支援を行ってまいりました。

本年も地域機関等とも密接な連携の下、地域のご利用者のハローワークに対する信頼を勝ち取るため努力してまいりますが、こうした取組には会員皆様のご協力が必要不可欠でございます。

どうぞ、引き続き、私どもハローワークへのご支援とご協力をお願い申し上げます。

終わりに、一般社団法人板橋産業連合会の益々のご発展と会員各位のご健勝とご活躍を祈念申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶



～ もっと年金を身近に ～



板橋年金事務所

所長 小畑 浩

新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人板橋産業連合会会員の皆様に、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

また、皆様には、平素から社会保険事業の運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、私ども日本年金機構は、おかげさまをもちまして発足から5年目を迎えることとなりました。

これまで日本年金機構発足以来、職員一同は年金記録問題の早期解決を最重要課題として、年金記録の確認と回復に取り組んでまいりました。

現時点で、不明とされている年金記録5095万件のうち2983万件が判明したところですが、まだ2112万件が判明しておりません。

昨年の1月からは「気になる年金記録、再確認キャンペーン」を展開し、一人でも多く年金記録の判明につながるよう広くお知らせしているところです。

特に、転職を繰り返された方や氏名に変更があった方におかれましては、今一度ご自身の年金記録をご確認いただくようお願いしているところです。

あわせて、ご自身の年金記録を自宅で確認いただける「ねんきんネット」の利用も呼び掛けております。

一般社団法人板橋産業連合会会員の皆様におかれましても、今一度、ご自身、ご家族、従業員の方々の年金記録についてのご確認をお願いいたしますとともに、「ねんきんネット」をご活用いただければ幸いです。

平成26年、5年目の節目の年を迎え、板橋年金事務所職員一同、年金制度の事業運営を円滑かつ適正に遂行するとともに、年金記録問題の解決に向けてより一層の取組と、お客様の立場に立った親切丁寧なサービスの提供に努めてまいります。これまで以上のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びにあたりまして、一般社団法人板橋産業連合会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

実施報告

● 環境管理研究会 第3回研修会



研修会の風景

12月11日（水）に環境ジャーナリストの富永秀一氏をお招きして、板橋環境管理研究会第3回研修会を開催致しました。

「気候変動による中小規模事業所のリスクとその対応」をメインテーマとしてご講演いただきました。現状の地球温暖化への対策と報道されていない今後起こり得るリスク、中小企業の省エネ対策などわかりやすく大変有意義な研修でした。

● 安全講習会

12月13日（金）に職場の安全管理と具体策をテーマに、RSTトレーナーの小沼博子氏をお招きして、安全講習会を開催致しました。

内容は労働災害の統計を基に労災の分析と対策や、危険予知や職場点検のポイント、イラストをもとに労働災害発生のポイントを学び、危険に対する感受性を磨く訓練をしました。途中腰痛予防のストレッチ等も交えた、職場で即実践に活かせる講習でした。



真剣な勉強風景



五感に響く指差し呼称

支部活動だより

坂下支部では、12月10日（火）に日帰り研修会として航空自衛隊百里基地、那珂湊おさかな市場および別春館（梅酒と酒の資料館、水戸市）の見学を参加者18名で行いました。

当日の天気予報は雨で、基地内での傘の使用が禁止されていた為、出発前雨ガッパを人数分確保しなければならなくなり、慌てる場面がありました。バスが基地に到着する頃は、雨は本降りになり記念写真は雨の中で行いました。見学は、まず展示室で基地の歴史と航空自衛隊の任務等の説明を受けた後、滑走路にて発着訓練を見学しました。

航空自衛隊の任務には、防空、大規模災害等各種事態対応及び国際緊急援助活動と国際平和協力業務があることを学びました。

この後、売店で自衛隊グッズを購入し基地を後にしました。昼食は阿字ヶ浦のシーサイド丸徳で常陸の郷土料理あんこう鍋に舌鼓を打ち、おさかな市場と別春館にて梅酒の試飲と梅酒ついで資料を見学し板橋に戻ってきました。皆様おつかれ様でした。



百里基地での集合写真
(残念ながら雨の中の撮影となりました)



百里基地 ブルーインパルス



懇親会の風景
(吉田理事にご挨拶いただきました)



那珂湊おさかな市場
(雨も上がり天候が回復した所での撮影)

新規会員のご紹介

平成25年12月に新しく入会されました、事業所をご紹介します。
今後とも宜しくお願い致します。

○坂下支部

会社名	株式会社アイオーエス
所在地	板橋区高島平9-17-15
事業内容	◆ 販売促進用品の企画・販売

板橋産業連合会の主な行事のお知らせ

開催日	行事	備考
1月17日(金)	板橋産業連合会 新年賀詞交歓会	産連会館3階会議室
2月5日(水)	経営セミナー(事業承継)	産連会館3階会議室
2月18日(火)	定期・特殊健康診断	産連会館3階会議室
2月26日(水)	日本酒セミナー	産連会館3階会議室

謹賀新年

新春を迎え会員企業の皆さまの益々のご発展をお祈り申し上げます。

平成26年 元旦

一般社団法人 板橋産業連合会

会長	吉川 宏	トックベアリング(株)
副会長	坂本大太郎	(株)リネス
副会長	青木 弘光	(株)青木メタル
副会長	樋口 茂	(株)太平鉄工所
副会長	柳井 繁	(株)高梁特殊印刷
副会長	佐々木善光	(株)佐々木建築設計
副会長	加藤 政晴	加藤税理士事務所
副会長	長江 洋介	長江建材工業(株)



【編集】一般社団法人 板橋産業連合会 板橋区仲宿54-10 TEL.3962-0131 FAX.3962-0133

【発行】2014年1月1日【協力】板橋区